



# 大沢田

— おおぞうた —

take  
free



## 新年を迎えて ..... P02

医療の話題 No.127 **くる病について** ..... P04

医療の話題 No.128 **抗がん剤治療にまつわる薬剤師の業務あれこれ** ..... P06

小児科部長に就任して ..... P08

## INFORMATION ..... P09

- がん教育 - 河内高校、黒瀬高校での講演 -
- 第17回中国四国地区国立病院機構 国立療養所看護研究会で「座長賞」をいただきました
- 防災・防火訓練に参加して
- DMAT技能維持研修に参加しました
- 第1回東広島医療センターJMECC開催!

研修医紹介 ..... P14

職場紹介 ..... P18

おすすめレシピ / 人事異動 ..... P19



独立行政法人 国立病院機構

## 東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地  
tel.082-423-2176 fax.082-422-4675

【発行責任者】事務部長 野村 哲朗  
【制作】株式会社 D52

東広島医療センター 検索

<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>



# 新年を迎えて

院長 勇木 清

謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中に当院へ賜りましたご支援ご厚情に深く感謝申し上げます。本年も昨年同様宜しくお願い申し上げます。令和四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症に明け暮れた年でした。しかし一昨年と異なり、ワクチン接種やその他の薬の登場もあり、我々も怯えてばかりではありませんでした。1年遅れの東京オリンピック・パラリンピック2020と日本人選手の活躍、大リーグでの大谷翔平選手のリアル二刀流、広島出身の岸田文雄内閣総理大臣の誕生など大きな出来事がありました。

私はいろいろな会議や会合、学会がほとんどWebで行われ、仕事以外では自宅で過ごす時間がたくさんありました。巣ごもりでは本やネットなどで色々と楽しませてもらいました。特にYouTubeの科学ものは画像もきれいで興味を持ちました。物理学、量子力学から宇宙の始まり現在、そして地球や人類の歴史についての映像表現は素晴らしく、理

解を超えたものも多くありましたが楽しめました。また昨年末に日曜のテレビドラマとして放送された“日本沈没”を楽しんだ方もおられると思います。これは天才的知識人といわれた小松左京のSF (science fiction)、空想科学小説を源としています。謎の感染症と対峙する“復活の日”も有名です。破壊や未来予測をとおして人間が支えているものの極限のありようや人の感情を抉り出す作品が多いのですが、単にSFという範疇で片付けられず、深淵する神話的、宗教的、哲学的な大きなものを感じさせます。コロナ禍のご時世をねらった本かもしれませんが、宮崎哲弥さんの書“いまこそ「小松左京」を読み直す”は一読に値するかとも思います。

昨年のコロナ感染症への対応はそれぞれの時期により違いはありましたが、8月末から9月にかけての第5波は強烈でした。当院は広島中央医療圏域（東広島市、竹原市と大崎上島町）で発症したほぼすべての患者をいったん診察し、症状や検査の結果をみて対応を決めてきました。昨年末までで1200人をこえる患者さんを診療しています。また昨年の2月には全国に



先駆けて、治療研究としてファイザーワクチンの接種を開始し、その後も職域接種、集団接種への協力、ドライブスルー PCRへの対応なども行ってきました。そして年末の変異種オミクロン株の登場とともに当院では3回目のワクチン接種が昨年12月13日より始まりました。この2年を通して私の感想ですが、政治や医学会などが社会を動かし、新型コロナウイルス感染症と闘おうとしてきましたが、他の国と比べ何か違う力が大きく働いて日本は悲惨なことになっていないようにみえてなりません。科学的に日本人が感染しにくいファクターXもあるのかもしれませんが、長く培われてきた人々の感性が強く作用しているように思います。周りに迷惑をかけるいけない、波風をたてない、世間の目を気にしつつ生きる、ケガレてはいけないなど心に根付いた何かです。同調を求める社会としての暗黙や“世間”への意識がマスクや三密回避への行動につながっているように思います。民族性の持つ何かの良い面がコロナ対策にはプラスに出ているように思いますが、負の側面とも向き合いつつ今後も世界と向き合っていくポストコロナは如何なるものかと思

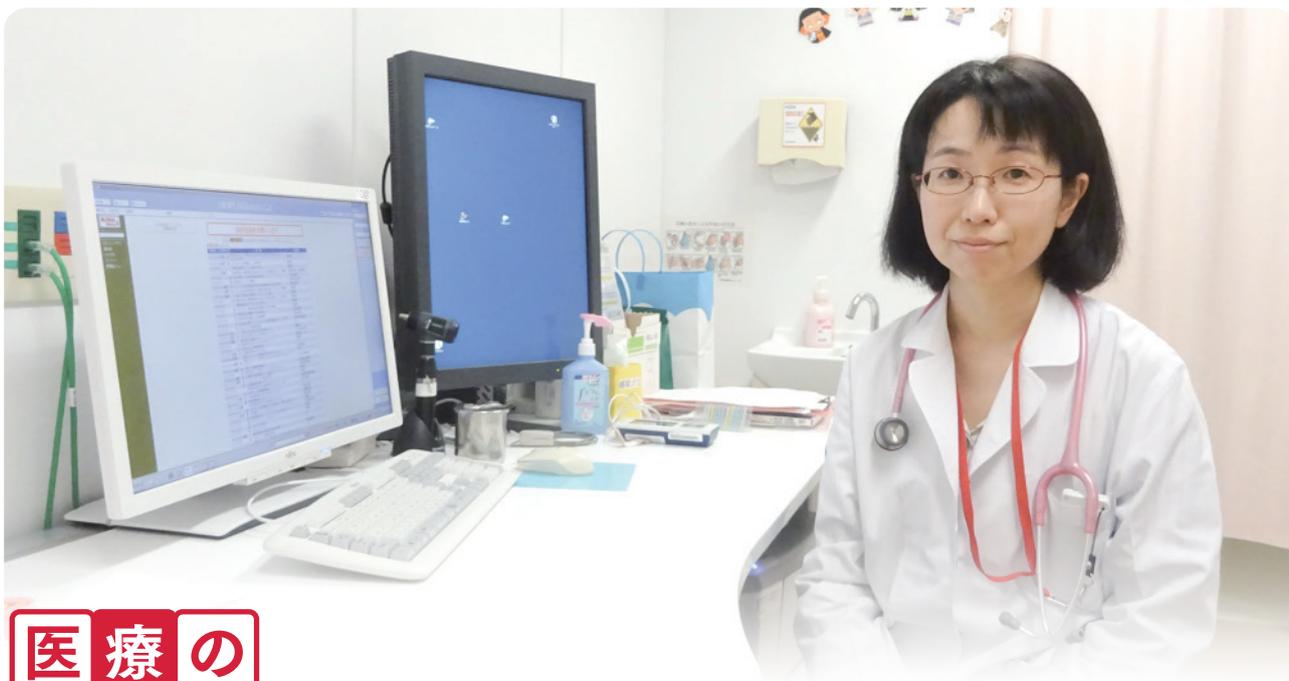
を馳せます。これまでにない不自由を経験している現在ですが、人類は過去多くの感染症と闘い、長い年月を要し乗り越えたのも事実です。ポストコロナが見えてくる年始であればと願うばかりです。

コロナ禍においても当院は広島中央医療圏の急性期医療と感染症対応の中核的役割を担っていくことが使命とされています。これまで2年間はその役目を何とか果たしてきたと思いますが、これも地域や住民の方との連携や御理解と御協力があったからこそです。医療物資を始め様々なお気持ちを頂き、改めて感謝申し上げます。本年も我々の使命を継続的に果たしていくため、職員皆の力を集結し努力していきたいと思

寒い日が続きますが、本年も皆様が健康でよい年であることを祈念しますとともに、一層の御指導、御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2022年1月





## 医療の 話題 No.127

# くる病について

小児科医師 原 香住

「歌は世につれ世は歌につれ」などと言いますが、病気も時代の影響を強く受けます。今回はくる病、特にビタミンDが不足して起こるものについての話です。

最近、生活習慣・生活環境の変化からビタミンD欠乏症が増加しています。ビタミンDが足りない状況が長く続くと、くる病や低カルシウム血症が起きます。

くる病という言葉は聞きなれない方が多いのではないのでしょうか。くる病とは骨の石灰化が妨げられることによって様々な症状が出る病気です。骨の成長が止まる前に発症しているものをくる病、止まった後に発症したものを骨軟化症と言います。大人でも子どもでも、骨は少しずつ壊すことと新しく作ることが繰り返されています。いわゆる新陳代謝ですね。

骨と言えばカルシウム！と思われている方が多いのですが、実は骨はカルシウムだけでできているわけではありません。1型コラーゲンなどの柔らかい「骨基質」にリンやカルシウムなどの硬い「骨塩」

がしみ込んで(石灰化して)「骨」ができています。ビタミンDは腸や腎臓で働いてカルシウムの吸収を助けています。ビタミンDが不足すると、カルシウムを食事で摂取していても吸収できず、骨塩の足りない骨になってしまいます。

骨塩が不足して軟らかい骨基質ばかりになってしまうとどうなるのでしょうか。骨は軟らかく曲がりやすくなり、骨折しやすくなります。子どもではO脚・X脚や成長障害(低身長)、歩行障害なども起こります。骨のためには、カルシウムを頑張って摂取するだけでなく、ビタミンDが不足しないように気を付けなければいけません。

### — ではなぜビタミンD不足が増えてきたのでしょうか。

— 一つの原因は日光浴の減少です。ビタミンDは食事から摂取することもできますが、日光(紫外線)に当たることによって皮膚で作ることもできます。紫外線の害が言われ始めた1990年代から世界的にくる病が増加しました。日焼けするほどでなくて構いません(お肌の調子も気になりますよね)。ある程度の紫外線に当たる必要があります。季節・天気・時

間帯・衣服などにもよりますが10分でも日に当たってみると良いでしょう。尚、ビタミンDに関しては必要な紫外線UVBは窓ガラスを通過しないので、屋内の場合は窓を開けましょう。

もう一つの原因は摂取量の不足です。残念ながら母乳に含まれるビタミンDは少ないので、完全母乳栄養の場合は離乳食の開始が遅れないように注意が必要です。また食物アレルギーがある場合も、過剰な食事制限をすると不足します。ビタミンDは魚類やきのこ、卵などに多く含まれています。野菜や穀

物・豆・イモ類にはあまり含まれていません。

骨は毎日少しずつ作りかえられているので、ビタミンDも根気よく摂取しなければなりません。逆に言うと、もしビタミンD不足でくる病になったとしても、改めて摂取しなおせば(時間はかかりますが)骨は治ります。

毎日コツコツ！ 日光浴と食事、気にしてみてください。

## ■レントゲンでの比較



健康



くる病

同じ年頃の子の左腕のレントゲン写真です。くる病の方では前腕の骨が曲がり、それぞれの骨の端が膨らんで毛羽立ったようになっています。

## ■食品100gに含まれるビタミンDの量

食品名	ビタミンD (μg)	食品名	ビタミンD (μg)	食品名	ビタミンD (μg)
えのきたけ 生	0.9	ぶなしめじ 生	0.6	さんま 焼き	13
えのきたけ 味付け瓶詰	0.1	ほんしめじ 生	0.6	ぶり・はまち 刺身	4.4
きくらげ 乾	85.4	エリンギ 生	1.2	まあじ 焼き	11.7
きくらげ ゆで	8.8	まいたけ 生	4.9	うなぎ かば焼き	19
しいたけ 生しいたけ	0.4	マッシュルーム 生	0.3		
しいたけ 乾しいたけ	12.7			鶏卵	1.8

1日のビタミンD摂取量の目安は5μg程度です。この表は食品100gに含まれるビタミンDの量です。あくまでも100g当たりなので、実際に一度に食べられる量を考えながら、参考にしてください。



医療の  
話題 No.128

# 抗がん剤治療にまつわる 薬剤師の業務あれこれ

薬剤師 渡邊 光

## 抗がん剤の調製について

当院では、全ての抗がん剤の調製を薬剤部が担っています。今更、ですが、薬剤部での作業環境について紹介したいと思います。

薬剤部の製剤室には、調製者の安全を確保し、かつ無菌的な抗がん剤の調製業務を行うために、安全キャビネットを設置しています(写真1)。このキャビネットはクラスIIA2というタイプです。安全キャビネットはクリーンベンチと異なり、内部で生じた汚染エアロゾルを含んだ空気が調製者側に流れ出るのをエアバリアが遮断しています(図1)。キャビネット内部へはHEPAフィルターを通した正常空気が給気されており、調製者にとっては安全、そして薬剤はクリーンな環境下で調製が行われています。キャビネットの内部では、抗がん剤を含んだエアロゾルが発生しないよう、また、ゴム栓のコアリングやアンプル片の混入が無いよう細心の注意を払いながら、トレーニングを受けた薬剤師が調製を行っています。

患者さん毎に異なる抗がん剤の投与量の確認はもちろんのこと、薬の調製も定められた手順に則って薬剤

師が行っていますので、患者さんには安心して抗がん剤治療を受けていただきたいと、薬剤部一同、考えています。



写真1

## 外来がん治療の質を高めるために 保険薬局との連携を強化

患者さんが日常生活を継続しながら治療を受けられるメリットは大きく、抗がん剤治療は入院から外来へとシフトしてきています。治療の質の向上に関して重要になるのが、病院と保険薬局との連携を含めた院内外でのチーム医療の展開です（その取り組みに対する評価として2020年度の診療報酬改定で連携充実加算が新設されました）。当院も、抗がん剤治療を受けた患者さんの外来処方に対応している地域の保険薬局と、連携を強化しています。一部の治療計画（レジメン）で先行して、次のような運用を開始しています。

外来の治療室においては当院の薬剤師が、治療内容の説明と副作用の聞き取りを行っています。その中で、患者さん本人の同意が得られた際は、①治療薬の内容と投与量、②治療の実施状況、③臨床検査値、④

主な副作用の発現状況、等の文書を、患者さんを通して、かかりつけの保険薬局に提供しています。当院のホームページでは当院のがん治療のページで「がん化学診療レジメン」が公開されており、保険薬局からも閲覧できるようにしています。

保険薬局の薬剤師（当院での研修会の受講を必須としています）は、病院から提供された情報をもとに、治療に参加しています。具体的には、処方後から次回通院までの期間に、薬局薬剤師が電話で体調のフォローを実施し、医師への処方提案などを行ったり、緊急対応が必要な場合は医師への受診を促したりしています。

保険薬局から当院にフィードバックされた内容は電子カルテに記録され、次の治療に反映されるよう、主治医に情報提供する体制を整えています（図2）。

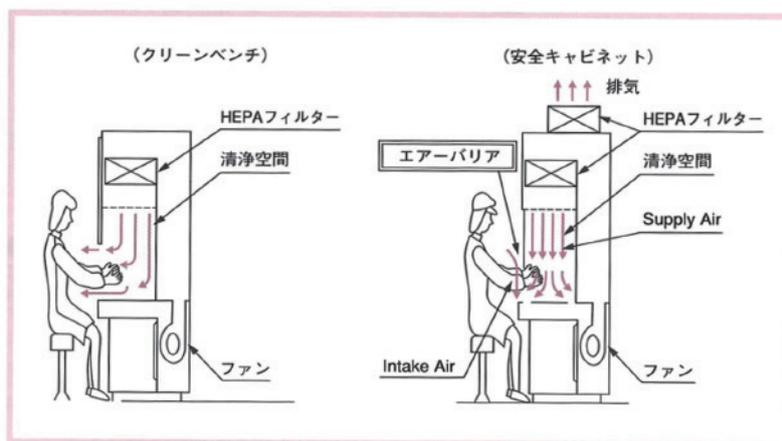


図1

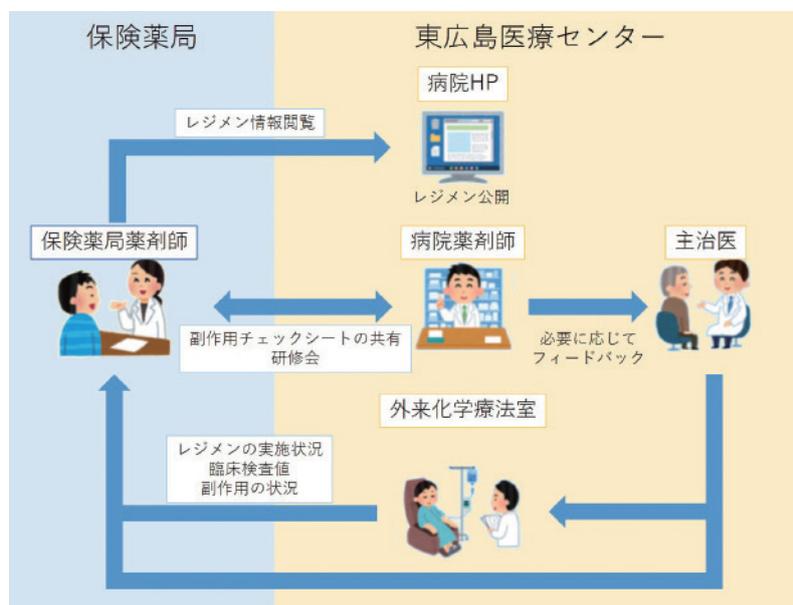


図2



# 小児科部長に就任して

——— 上野 哲史

この度小児科部長に就任いたしました上野哲史と申します。平成9年に広島大学小児科に入局いたしました。東広島医療センターには平成21年からお世話になっています。

当院の小児科診療については昭和24年に内科出身の先生が小児科医長として赴任されたのがスタートで、当初は小児の入院患者の多くが結核の症例だったと聞いています。昭和32年に小児病棟が開設され、気管支喘息や急性期疾患の入院治療をはじめられました。昭和41年から気管支喘息患児の長期入院療養がはじまり、当院で入院生活をしながら近隣の小中学校に通学していたと聞いています。昭和58年に広島大学小児科から小児科医が派遣され、救急患者の受け入れや一般小児診療の役割を担うようになりました。また、平成24年3月から産科診療が開始となり、同時に新生児の診療も開始となりました。同年10月から広島県地域周産期母子医療センターとして診療を行っています。

小児科の診療内容としては多くの方が発熱を主訴とした急性感染症を思い浮かべるのではないかと思います。当院でもご多間に漏れず、急性感染症の診療が多くを占めていますが、ほかにも広範囲にわたる小児内科疾患一般の診療を行っています。

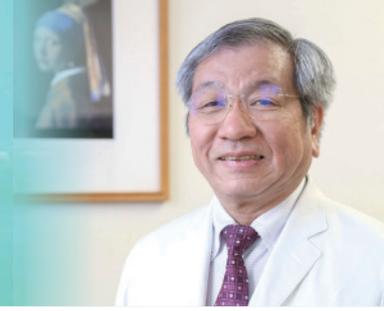
周産期母子医療センターとしては年々症例数が増えてきており、初年度の出生数は350人でしたが、令和2年度に当院で出生した新生児は499人となっています。眼科の常勤医が不在のため34週以降を対象としておりますが、早産児や病的新生児について診療を行っています。

当地域は若年人口の比較的多い地域であり、小児の二次救急医療や新生児医療に携わる当院の果たす役割は今後重要度が増していくものと考えています。

諸先生方のお力を借りながら地域のニーズに応えられるよう努力する所存です。今後ともよろしく願いたします。

## がん教育 — 河内高校、黒瀬高校での講演 —

副院長 高橋 忠照



令和3年11月19日、24日 広島県立河内高校、黒瀬高校にてがんについての講演を行いました。河内高校は3年生53名、黒瀬高校は2年生70名が対象となりました。

河内高校3年生は 半数が就職する予定でほぼ就職先が決まっているそうです。進学する生徒もほとんどが推薦で受験生のピリピリ感は全くありませんでした。

とても素直な生徒で、熱心にメモをとっている子もいました。居眠りをしている生徒は一人もいませんでした。喫煙と発がんの関係についてのお話をするとき、教職員の一部の先生方が耳の痛そうな顔しておられました。

講演終了後に質問を受け付けると、大変熱心に質問してくれました。がんになりやすい人を見分けることはできるのか？ がんのステージとはどういうものか？ 特にがん対策基本法は何年前に出来たのか？ またその効果はあったのか？ といった厳しい質問もありました。

最後に生徒を代表して講演の内容の一部を引用して感謝の言葉をいただきましたが、彼の母親ががんで闘病しており大変参考になったと言ってくれ講演した甲斐があったと感じました。

講演の前には、河内高校の校長先生と雑談をする機会がありました。

河内高校は 明治42年に創設され、大変歴史のある学校でしたが、河内町の人口減少に伴い生徒さんも減少し

現在は校舎の5階部分は全く使われていないそうです。過疎化の厳しい現実は何年の賀茂北高校も同じでした。

昨年を書きましたが、平成18年制定のがん対策基本法の下、平成24年のがん対策推進基本計画において、「子どもに対しては、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを目指し、5年以内に、学校での教育の在り方を含め、健康教育全体の中で「がん」教育をどのようにするべきか検討し、検討結果に基づく教育活動の実施を目標とする」こととされています。

そして、がん診療連携拠点病院の使命としてがん教育に対して講師として協力することが挙げられます。

これを受け、平成28年広島県の取り組みとしてパイロット的に豊栄中学校でがんについての講演依頼がありました。昨年1月には賀茂北高校でがんに関する講演を行いました。しかしコロナの蔓延の為に、がん教育講演はしばらく中断していました。

今回、コロナの蔓延が落ち着いてきたタイミングで令和3年11月に近隣の高校を対象にがん教育講演は再開されました。来年以降は継続的にどこかの高校でがんに関する講演を依頼されるでしょう。2人のうち1人はがんになる時代、がんに対する正しい知識を若いうちから持つておくことはとても大切なことだと思います。



黒瀬高校での講演の様子



河内高校での講演の様子

## 第17回中国四国地区国立病院機構 国立療養所看護研究学会で「座長賞」をいただきました

7病棟 其田 華奈子

第17回中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会が、9日10日(土)に、高知県で開催されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大を鑑みてやむなく中止となりましたので2年ぶりの学会開催であり、初めてWEBで開催されました。

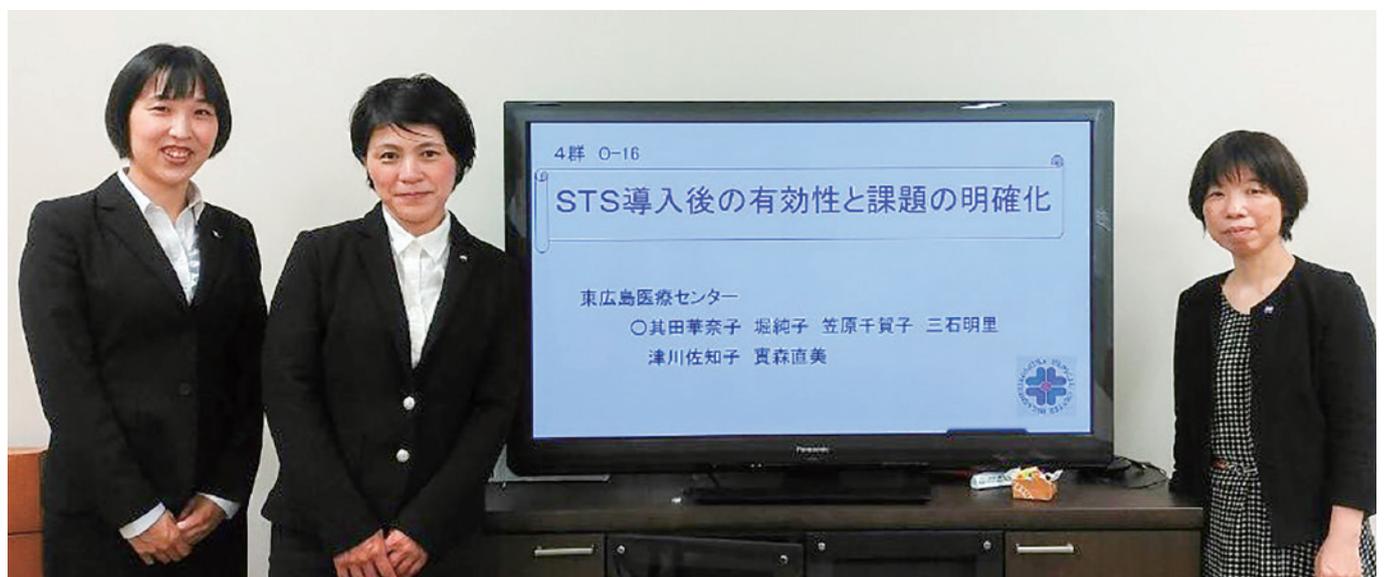
この学会で、【STS(早期母子接触)導入後の有効性と課題の明確化について】のテーマで発表し、座長賞を受賞しました。

近年母親から「児と一緒に過ごしたい」「母乳で育てたい」などの意見が聞かれ育児支援のニーズが高まり、3年前からSTSを導入しました。今回の看護研究では、STSを実施することで、産婦だけでなくスタッフも分娩の満足感が向上しており、基準やチェックリストがSTSの実施に有効であったことが分かりました。しかし、安全性を重視したため基準が複雑化し、実施時間などの制約も多く、希望者にSTSが実施できなかつたり、STSの開始が遅れる現状もありました。今後は、基準やチェックリストの見直しが必要であることの課題も見えてきました。

今回の看護研究学会の座長賞は、3年かけてSTSについて真摯に取り組んできた看護研究のメンバーと協力してくれたスタッフの存在がとても大きかっ

たと思います。また、STS実施後の児の安堵の表情や「なんだか幸せです」と話される産婦さんの反応が、STSの取り組みを継続する活力となりました。

育児のスタートが少しでも、幸せな思いで出発できるように、これからも病棟スタッフと協働して取り組んでいきたいと思っています。



# 防災・防火訓練に参加して

6病棟 副看護師長 光永 義洋



11月12日（金）に防災・防火訓練が行われました。夜間に大地震が起これり、6階病棟で火災が発生したことを想定した模擬訓練でした。

訓練当日は、臨場感さながらで緊急地震速報音が鳴り、火災感知器が院内に鳴り響きました。私は、出火病棟の夜間リーダー役であり、リーダーは火災現場の確認、メンバーに対して初期消火の依頼、現場の指揮をする役割があります。現場の指揮の中では、警報を聞きつけて応援に来てくれた職員の初期消火活動、患者の救護、避難誘導などを采配する必要があります。

本番前、シミュレーションを行いイメージトレーニングをして臨みましたが、実際の訓練では、応援に来てくれた職員を、どの場所に何人配置するのか、また応援者にもどのように行動してもらうのか具体的な指示が求められ、的確に采配することの難しさを体験しました。

また、今回の訓練では、自分では歩くことのできない患者さんを担架にのせて屋上まで避難誘導をし、はしご車による救出の実演できたことは貴重な体験となりました。

当院は広島中央医療圏の急性期中核病院であり、日々多くの患者さんが入院しておられます。また、外来にも多くの患者さんが来られます。そして多くの職員も働いています。

もし大規模な災害や火災などが起こった際には、多くの命が危険にさらされます。病院機能が失われるとさらに地域にも大きな影響が及びます。そのような状況を少しでも避けることができるように、日ごろから災害などについて考え、いつでも最善の行動がとれるように今回の防災・防火訓練の経験を活かしていきたいと思います。



# DMAT 技能維持研修に 参加しました

DMAT 隊員 (薬剤部 製剤主任)  
渡邊 光



DMATは、大地震及び航空機・列車事故といった災害の急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。災害時におけるDMATの活動は、本部活動、広域医療搬送、病院支援、現地での情報収集や人命救助の現場活動など、非常に多岐にわたります。災害が起こった際に全国から集まったDMATが共通認識・共通言語の下で活動ができるよう、DMATが行う活動のひとつひとつには決まった手順があり、その手順は、実災害での経験をもとに絶えずアップデートされています。

先日、山口市にてDMAT技能維持研修(DMAT隊員は5年間で2回以上の受講が義務)が開催されました。中四国地方から約150名のDMAT隊員を集めた研修で、当院からは医師(森田、原田)2名、看護師(小川)1名、そして業務調整員として薬剤師(渡邊)1名が参加しました。

本研修はコロナ禍であることから、内容の一部は事前にリモート研修(写真)でおこなわれ、集合での研修(演習)が必要な内容については分散して開催されるため、看護師(西原)と業務調整員の事務(永田、長山)が近日受講予定となっています。

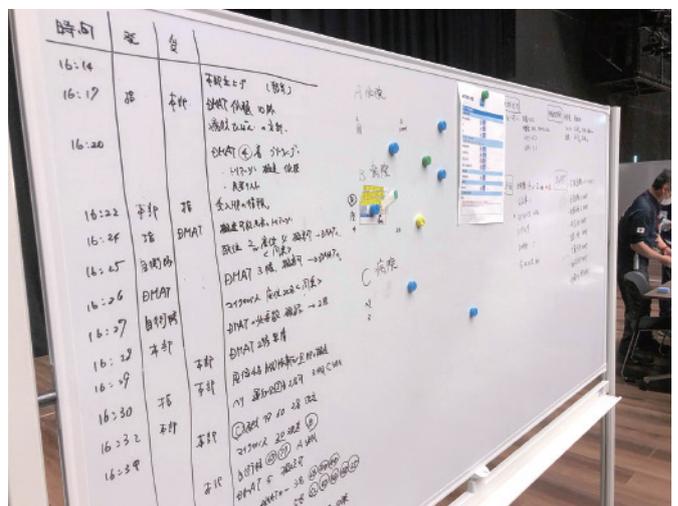
今回の集合研修はすべて机上演習の形式で、①SCU(傷病者を被災地外の災害拠点病院などへ広域医療搬送するために、空港・自衛隊基地などに設置される臨時の医療施設)での搬送手順の確認、②被災地で開設される避難所・救護所での情報収集活動、③特定の被災シナリオ下での病院支援と受援の演習が行われました。インストラクターに誘導される様々なシチュエーションの中で従来の活動手順を確認すると同時に、一部新しくなった活動手順を習得するというものでした。

災害が発生すると、混乱した現場で体制を一から立てて活動しなくてはなりません。災害においては、「情報を制するものは災害を制する」と言われるほど、情報整理が重要とされています。研修の中でも、流れていく様々な情報を業務調整員が中心となって時系列順にクロノロジーに記録(写真)していくなど、演習ならではの貴重な経験ができました。

起こってほしくはありませんがいつかきっと起こりうる災害に対して、今後もDMATとして、知識と技術のブラッシュアップを継続的に行っていこうと強く感じました。



事前のリモート研修



様々な情報を時系列順にクロノロジーに記録

# 第1回東広島医療センター JMECC

## (日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会) 開催！

脳神経内科部長 末田 芳雅

去る10月24日(日)に、念願の第1回東広島医療センター JMECCを開催しました。

JMECC : Japanese Medical Emergency Care Course(日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会)は、心肺停止患者さんに対して、一次救命処置や二次救命処置のみならず、心肺停止に至る直前のいわゆる内科的急変に対して、最初の10分間でいかに対応するかをシミュレーション形式で学ぶ講習会です。

総合内科専門医試験の受験資格としても本講習の受講修了が必須となっていますが、内科以外の全ての医師に是非受講して頂きたい内容ですし、看護師さんや救急救命士の方も受講可能です。

と、前置きはここまでにして…今回は当院の初期臨床研修医2年目7名と内科レジデント3名の計10名の先生方が受講されました。対するインストラクター陣はマツダ病院の住居 晃太郎 副院長先生をディレクターとし、外部インストラクターとして私の尊敬する指導医である呉医療センター脳神経内科 鳥居 剛先生(現在は国立病院機構本部で人材育成も担当)、他、JA 広島総合病院、広島市民病院、県立広島病院から呼吸器科、循環器科の部長クラスの先生方と豪華なメンバーを迎えました。当院からは循環器内科 山里 亮 医師、脳神経内科 北村 樹里 医師、松田 明子 医師、末田、手術部 西原 壱 副看護師長が加わり計10名の布陣でした。

当日は早朝から受講生は元気良く楽しそうに学ぶ姿が印象的でした。そして、さすが日々の救急診療で鍛えられている当院の若手医師達です。声もしっかり出し、体も良く動かし、チームワークも抜群! どんどん吸収し成長する姿は指導する側としても、とても頼もしく思えました。外部のインストラクターの先生方からも「この先生、ホントみんな優秀!」と大絶賛で、とても嬉しく誇らしく思いました。

JMECC初開催という事で、準備に関しては物品調達、会場確保・設営、受講生・インストラクターへの詳細な連絡などに追われ、また当日の進行も不慣れな点が多く、個人的には細かな反省点も多々ありました。しかし、住居ディレクターに細かい点までアドバイスを頂きつつ、事務の中山 拓久さんのサポートにより無事当日を迎え、

当日は受講生・インストラクター全ての方のご協力を得て最終的には大成功だったと思っています。全ての皆様のご協力にこの場を借りて深くお礼申し上げます。

日本内科学会の教育病院として若手内科医師を育てる使命を持つ当院で、記念すべき第1回 JMECCを開催できた事に充実感を感じつつ、第2回は今回の開催で判明した反省点を修正し、さらに良い講習会にしたいと決意新たにしているところです。

最後に、今回受講された皆さん、特に内科を専攻される先生は、この受講で終わりではなく、インストラクターを目指してさらに内科救急診療を追求して欲しいと思います。実際の診療場面で必ず活かされてきますので、是非一緒に頑張ってみませんか。



講習会終了後の受講生の皆さんの充実感に満たされた笑顔、素敵ですね

## 研修医 紹介

# 初期臨床研修医

—— 渡邊 真子

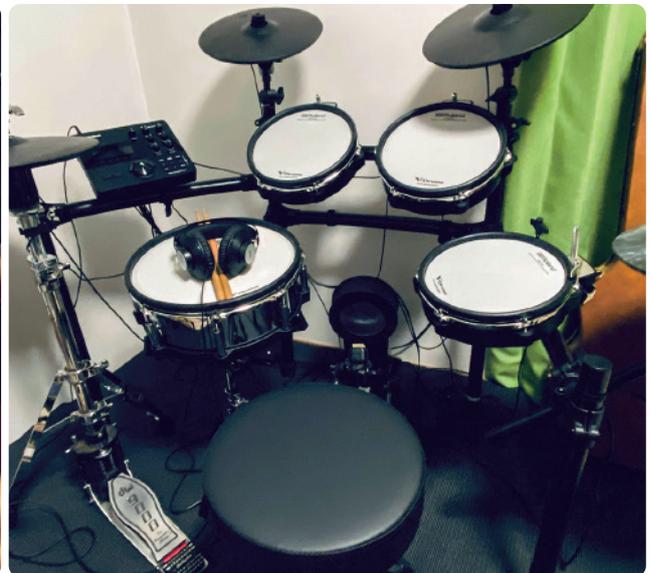
はじめまして。初期臨床研修医2年目の渡邊です。生まれも育ちも広島県ですが、大学は6年間宮崎大学に在籍し、南国の地でのびのびと医学を学び研修医として広島に戻って参りました。

そんな初期研修も気が付けばあっという間に2年目が過ぎようとしており、季節の巡る速さに慄いています。2年間は瞬間の出来事のようにでしたが、思い返すとたくさんの症例を色々な先生方と一緒に担当させていただき、処方の仕方、輸液の仕方、急患対応時の考え方…、教科書には載っていないけれどこれからの医師生活に欠かせない莫大な知識を授けていただいたことに気づき感謝の気持ちでいっぱいです。来年度から医師3年目後期レジデントとして勤務することには、今以上に大きな責任があり、知識・度胸が必要とされ、緊張と不安でいっぱいです。新天地で遅しく医業を遂行するために、この温かい東広島医療センターで1つでも多くのことを学び取ろうと貪欲に頑張っ参りますので、接して下さる全ての皆様に引き続きのご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

そんな私は大学時代軽音楽部に在籍しており、音楽鑑賞と楽器演奏が趣味です。大学時代にキーボード、ギターをしており時折ドラムにも触っていました。アルバイト代金をかき集めて購入した可愛いフジゲン



ムスタングとギブソンレスポールに加え、研修医になってから自宅用キーボードと電子ドラムセットを購入しました。先日演奏を披露する機会がありましたが、技術の鈍りに悔しく思いつつも、久々にセッションする楽しさはやはり素晴らしいものでした。以前から懇意にしてくださっているドクターともセッションのお約束をしたりと楽しみが増えました。コロナ感染症も落ちつき余裕ができたなら、コメディカルバンドグループを結成したいですね。演奏の機会があったら是非声をかけてください！



# 初期臨床研修医

——— 住本 夏子

初期臨床研修医2年目の住本夏子と申します。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。私は東広島市出身で大学1年生まで東広島に住んでいました。その後は6年間広島市に住んでおり、久しぶりに東広島に戻ってきてすごく安心感もありますが、朝晩の寒さに市内が恋しくもあります。

2020年に広島大学を卒業し、初期臨床研修1年目は広島大学病院で研修しました。そして今年(2021年)の4月から東広島医療センターで1年間研修をさせていただいています。来年度からの進路についてはすごく悩みましたが、上級医や同期にたくさん相談にのっていただき、呼吸器内科を専攻することに決めました。これから4~5ヶ月東広島医療センターでの研修期間が残っていますが、内科を中心に研修させていただこうと考えています。様々な場面でお世話になることがあると思いますが、残りの研修期間精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

この記事を書いているのは11月下旬なのですが、最近街でクリスマスツリーを見かけるようになってきました。クリスマスツリーなどの装飾を見ると子供のころにプレゼントを楽しみに待っていたドキドキ感を



思い出して楽しい気分になるのでクリスマスシーズンは1年の間でも好きな季節です。そろそろ自宅にもクリスマスツリーを飾ろうかと考えています。コロナが蔓延し始めてから、旅行などに出かけることは難しくなりましたが、自宅でも季節感や非日常感を味わえるような工夫をしてみようかなと思います。

以上長くなりましたが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



## 研修医 紹介

# 初期臨床研修医

—— 升賀 由規

初期研修医2年目の升賀由規と申します。

私は広島県出身で2021年4月より東広島医療センターにて研修をさせていただいております。他県で広島弁を使いたいという気持ちもあり、他県での生活に憧れた時期もありましたが、気付けば広島県にずっと住んでいました。そんな自分にも少年期があり、放課後にはカープの帽子とグローブを持って公園に向かう毎日を過ごしたことで、今でも野球やカープが生活の一部となっています。今となってはローソンの看板までカープの真っ赤に染まる広島県で生活できることに喜びを感じています。

さて話を研修に戻しますと、来年度以降は救急集中治療科に進むことにしました。自分が医師となって最初に研修したのが広島大学病院での救急集中治療科で、重症患者を目の前に少しも動けない自分に対して無力さを痛感したことを覚えています。その経験から少しずつ救急医を目指すようになりました。さらに当院での研修では指導医の先生方や他のスタッフとの垣根が低く、相談しやすい環境で親身な指導をしていただき、その中で急性期疾患への興味が増していき、今は特に脳卒中や外傷を勉強したいと考えています。2年間の初期研修も終盤となってきて、進路の異なる同期と職場が離れることへの寂しさや、専門へ進むことへの楽しみや不安など感じておりますが、毎日少しでも多くの経験を積み、技術を習得できるように残りの研修に取り組んでいきたいと考えています。



私生活についても少し書かせていただきます。ついに念願のハンモックを購入することができました。念願というのもハンモックへの憧れはずっとありましたが、部屋のスペースの問題もありなかなか購入に躊躇していたのです。買った当初はハンモックに揺られながらテレビを見るのが憩いの時間でしたが、今は洗濯物の一時避難場所になることが増えてしまいました。なかなか場所をとってしまうので、今では内心、普通のソファが恋しいですが、まだしばらくは愛用したと思います。

長くまとまりのない文章となってしまいましたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。



# 初期臨床研修医

—— 島田 俊宏

初期臨床研修医の島田俊宏と申します。

私は東広島市高屋町の出身で、中学校までは地元の学校に通っていました。その後基町高校へ進学し、大学は愛媛と県外に出たものの、初期研修で地元である東広島へまた戻って参りました。2020年4月から当院で研修を開始し、今年で2年目となります。これまで内科系・外科系含め様々な科をローテーションさせていただきました。まだまだ未熟ですが医師として上級医や同期、看護師さんなど他職種の方々から少しずついろんなことを学びながら成長させていただいています。

今年度で初期研修も最後となりますが、来年度からは呼吸器内科の道へ進むことに決めました。今月はその呼吸器内科で研修をしています。新型コロナウイルスを含め肺炎などの感染症や喘息などのアレルギー性疾患、肺癌や間質性肺炎など診る病気は多岐に渡り、勉強しなければならないことは山積みです。課題は沢山あり来年度のことに對して不安に思う部分も多いのですが、呼吸器グループの先生方は優しく熱心に指導をしてくださいますので、期待に応えられるよう努力して少しずつ成長していければと思っています。



休みの日はこのコロナ禍で始めた趣味である珈琲を楽しんでいます。各所のオンラインショップで様々な個性のある豆を取り寄せて、自宅で挽いてドリップしています。寒くなってきてホットコーヒーが美味しい季節になってきたのでたまにサイフォンを使ったりマキネッタで淹れたりもします。東広島にも美味しい珈琲豆を焙煎している店舗がいくつかあります。ドリップであれば意外と始めるハードルは低いので、読者の皆様もこの冬始めてみてはいかがでしょうか。



今年度、放射線科は、縁あって2名の新人技師と2名の転勤採用者を迎えることができました。共に働ける仲間が出来たことは、大変喜ばしく思います。

放射線科は、診断部門と治療部門とで構成しています。医師は、診断部門の富吉放射線科部長を筆頭にレジデント1名、非常勤医師1名、治療部門は、藤田放射線科医長、そして、診療放射線技師19名、治療看護師1名、事務助手1名です。

昨年度の放射線科は、ガンマカメラ装置から始まり、CT装置、MRI装置、X線TV透視撮影装置と時の流れに沿って更新、増設が実現し、無事に稼働することができました（詳細は、旧号を参照してください）。今年度は、血管撮影装置の更新をしており、7月26日に稼働しました。皆様のご協力に感謝します。ありがとうございます。

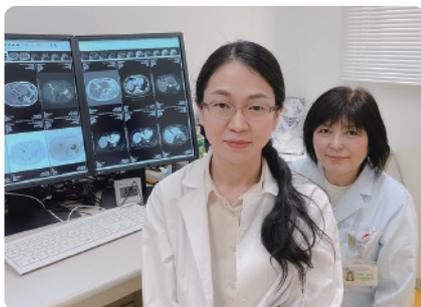
そして、CT装置、MRI装置は念願の2台体制になり

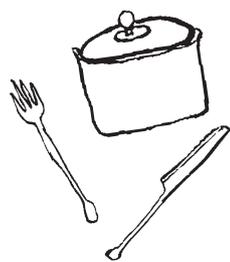
ました。我々は、その最新技術の方向性を知り、その技術を使いこなすために必要な知識を身につけ、そして発信していきます。スタッフ一同、「気を引き締め、足元をしっかりと、より良い放射線業務を提供できるように精進していきたい」と年度初めに誓いました。

「さて」、私としては、「現場の業務をこなすだけでなく、学術発表やいろいろな活動を通じて技師としての仕事の楽しみ方を身につけてほしい」との思いがあります。

東広島医療センターは、各々の部門に、志が高く頼れる方々がたくさん存在していること、その部門の垣根を越えて、放射線科に固執することのない考え方を学ぶことができること、そして仕事のやる気と楽しさを引き出してくれる環境です。人と人の繋がりを大切に考える放射線科の幅広い成長に、ご期待ください。

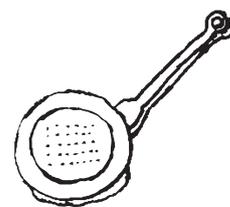
これからもよろしくお願いします。





## 旬の野菜のレシピ

今が旬の大根のレシピになります。とても簡単に作る事が  
できますので是非作ってみてください。美味しいですよ。



### ゆず大根



#### ■ 材料(2人前)

- ・大根 …………… 500g
- ・塩 …………… 小さじ1
- ・ゆず …………… 1個
- ・(A) 砂糖 …………… 大さじ3
- 酢 …………… 大さじ2
- 塩 …………… 小さじ1
- 鷹の爪輪切り …… 小さじ1

#### 【作り方】

- ①大根は皮をむき、拍子切りにします。塩をふりかけて5分ほど置き、水気を絞ります。
- ②ゆずは果汁を大さじ1程絞り、皮の黄色い部分をむいて干切りにします。
- ③ボウルに(A)、②の種を取り除いた果汁を入れて混ぜます。
- ④ジップ付き保存袋に①、②の皮、③を入れて、冷蔵庫で1時間ほど冷やします。味がなじんだら器に盛り付けて完成です。

大根はなるべく同じ大きさに切ると漬かり具合も同じようになります。もっと簡単にしようと思えば酢の物用のお酢を利用してもよいと思います。

## 人事異動

[期間] 令和3年12月2日 — 令和4年1月1日



採用

R4.1.1  
診療部  
レジデント(耳鼻いんこう科)  
松元 聡一郎

退職

R3.12.31  
診療部  
耳鼻いんこう科医師  
大和 賢輔

診療科名	月	火	水	木	金
総合診療科	松本 正俊	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子
内分泌・糖尿病内科 フットケア外来	午前 ◎向井 理沙 ◎小出 純子	◎吉山 紗代 ◎向井 理沙	◎第1・3・5 向井 ◎第2・4 吉山	◎小出 純子 ◎吉山 紗代	◎小出 純子 ◎向井 理沙
	午後 ◎担当医	◎担当医			
糖尿病療養外来	糖尿病療養外来は、毎週火曜日(祝日等を除く)の午前9時から12時まで【完全予約制】				
腎臓内科	原 愛美	入福 泰介	沖本 昂祐		入福 泰介
血液内科	今川 潤	栗屋 忠祐		今川 潤	栗屋 忠祐
脳神経内科	◎北村 樹里 ◎琴崎 哲平	◎琴崎 哲平 ◎末田 芳雅	◎松田 明子 ◎琴崎 哲平	◎末田 芳雅 ◎北村 樹里	◎北村 樹里 ◎末田 芳雅 ◎松田 明子
呼吸器内科	◎奥本 穰 ◎宮崎 こずえ ◎西村 好史 ◎川口 健太郎	◎重藤 えり子 ◎中 康彦	◎西村 好史 ◎宮崎 こずえ	◎宮崎 こずえ ◎重藤 えり子 ◎川口 健太郎 ◎中 康彦	◎川口 健太郎 ◎西村 好史 ◎棚橋 弘貴
循環器内科	◎東 昭史 ◎城 日加里 ◎対馬 浩	◎山里 亮 ◎小野 裕二郎	◎小野 裕二郎 ◎東 昭史	◎城 日加里 ◎山里 亮	◎対馬 浩 ◎小野 裕二郎 ◎城 日加里
小児科	上野 哲史 原水戸川 昂樹	下田 浩子 水戸川 昂樹	岡田 泰之 原山岡 尚平	上野 哲史 原山岡 尚平	下田 浩子 水戸川 昂樹
外科	高橋 忠昭 宮本 和明 堀本 龍一 高畑 明寛	◎本 誠治 ◎田 雅史 ◎河内 雅年	◎本 誠治 ◎宮本 和明	◎豊田 和広 ◎井上 雅史	◎本 誠治 ◎堀本 龍一 ◎第1・3・5 河内 ◎第1・3 高畑 ◎第2・4 松原
手術日	手術日				
ストーマ外来	ストーマ外来は、第4月曜日(祝日等を除く)の午後【完全予約制】				
整形外科	岸 和彦 今田 英明 森 亮 藤岡 悠樹 第1・3・5 神原 第2・4 山崎	◎今田 英明 ◎森 亮 ◎第1・3・5 山崎 ◎第2・4 神原	◎岸 和彦 ◎藤岡 悠樹 ◎第1・3・5 山崎 ◎第2・4 神原	◎岸 和彦 ◎森 亮 ◎神原 智大 ◎山崎 修平	◎今田 英明 ◎藤岡 悠樹 ◎第1・3・5 神原 ◎第2・4 山崎
手術日	手術日				
骨粗鬆症外来	骨粗鬆症外来は、第2、第4木曜日(祝日等を除く)の14時から17時まで【完全予約制】				
呼吸器外科	◎手術日	◎原 洋明 ◎赤田 幸一	◎柴野 耕一	◎手術日	◎柴原 洋明
皮膚科 (火・金曜日手術のため8:30~10:30まで)	◎間所 直樹 ◎宗盛 倫子	◎間所 直樹 ◎宗盛 倫子	◎間所 直樹 ◎宗盛 倫子	◎花谷 真由子 ◎第1・3・5宗盛/◎第2・4間所	◎間所 直樹 ◎宗盛 倫子
手術日	手術日				
眼科(休診)					
緩和ケア外来	◎野村 拓司				
消化器内科	◎濱田 博重 ◎井河村 良太	◎南苗代 智之 ◎苗代 典樹	◎濱田 博重 ◎河村 良太	◎南苗代 智之 ◎苗代 典樹	◎苗代 典樹
脳神経外科	◎勇木 清隆 ◎貞友 隆樹 ◎谷口 洋樹 ◎森田 悟	◎手術日	◎谷口 洋樹 ◎池田 昂輝	◎勇木 清隆 ◎貞友 品川 ◎品川 勝弘	◎品川 勝弘 ◎池田 昂輝
手術日	手術日				
心臓血管外科	◎森田 悟	◎手術日	◎前田 和樹	◎森田 悟 ◎江村 尚悟	◎前田 和樹
耳鼻咽喉科	午前 ◎宮原 伸之 ◎藤田 陸登	◎手術日	◎藤田 陸登 ◎松元 聡一郎	◎担当医 (※手術のため緊急紹介患者のみ8:30~9:30まで)	◎宮原 伸之 ◎松元 聡一郎
午後	◎担当医(予約のみ) ◎手術日	◎宮原 伸之(予約のみ) ◎松元 聡一郎		◎手術日	◎藤田 陸登(予約のみ) ◎担当医
歯科(入院患者のみ)	◎應原 一久	◎松元 真司	交代制	◎加治屋 幹人	◎濱本 結太
泌尿器科	◎藤原 政治 ◎西田 健介	◎藤原 健山 ◎鍵山 義斗	◎西田 健介 ◎鍵山 義斗	◎藤原 政治 ◎西田 健介	◎手術日
産婦人科 (予約制)	◎手術日	◎田中金 文子 ◎定佐藤 貴優 ◎野村 優奈	◎手術日	◎田中金 文子 ◎定野村 貴奈	◎田中金 文子 ◎定佐藤 貴優

【受付時間】8時30分～11時30分 診察時間：8時30分～17時15分

○救急患者さんは随時診療いたします。

歯科(入院応需)は臨時的に診察曜日が変更となることがあります。

【予約受付】再診患者さんにつきましては、受診時に次回の診察予約ができます。  
また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。  
電話(082)423-1489(平日8:30~15:00)

【産婦人科】産婦人科外来は原則的に初診も含めて予約制です(火曜日・木曜日・金曜日)。

【診療日】月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります)

